

令和元年7月12日(金)
国土交通省 関東地方整備局
東京湾口航路事務所

記者発表資料

平成30年度 優良業務等事務所長表彰について

関東地方整備局東京湾口航路事務所では、平成30年度に完了した業務の中で特に優れた成績を収めた業務及び技術者について、下記のとおり平成30年度事務所長表彰を執り行います。

記

1. 日時 : 令和元年7月18日(木) 11時00分から
2. 場所 : 東京湾口航路事務所 会議室
(横須賀市新港町13番地 東京湾口航路事務所内)
3. 表彰件数及び人数
優良業務及び優秀技術者:1件及び1名

以上

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京湾口航路事務所

副所長 さくらだ たけみつ
櫻田 武光

工務課長 やまや すすむ
山谷 将

電話 046-828-8365

平成30年度 優良業務等事務所長表彰について

1. 目的

平成30年度に関東地方整備局東京湾口航路事務所で完了した業務の中から、その業務への取り組みが優秀で他の模範となる業務を選定し、当該業者及び技術者を表彰することにより建設における技術の向上及び円滑な事業推進に資することを目的とします。

2. 平成30年度優良業務等 [事務所長表彰](下表参照)

- (1)優良業務 1件
- (2)優秀技術者 1名

3. 優良業務等の概要及び表彰理由 [事務所長表彰] (資料参照)

4. 表彰式[事務所長表彰]

表彰式は、東京湾口航路事務所長の他、事務所幹部が出席して、優良業務受賞の1社と優秀技術者受賞の1名が出席予定であり、事務所長から表彰状が授与されます。

優良業務及び優秀技術者

業務名	優秀技術者名 役職	業者名 代表者名 住所
東京湾中央航路付帯施設設計等業務	久下 真一 管理技術者	日本海洋コンサルタント株式会社 有田 正史 東京都港区芝浦 3-7-9

優良業務及び優秀技術者事務所長表彰の概要及び表彰理由

資料

ふりがな 業者名	にほんかいよう かぶしきがいしゃ 日本海洋コンサルタント株式会社		
ふりがな 技術者名	くげ しんいち 久下 真一	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	とうきょうわんちゆうおうこうろ ふたいたしせつせつけいとうぎようむ 東京湾中央航路付帯施設設計等業務		
履行期限	(自)平成 30 年 9 月 27 日 (至)平成 31 年 3 月 28 日		
事務所名	東京湾口航路事務所		
業務概要	<p>本業務は、東京湾中央航路第二海堡の東側護岸施設の構造設計及び施工法等の検討、盛土部付帯工の検討、東側護岸(A工区)被覆工の検討、荷揚護岸階段の検討、鋼管矢板の腐食検討及び観光資源活用推進検討を行うものである。</p>		
表彰理由	<p>本業務の履行にあたっては、業務の目的と内容、第二海堡の現場条件を十分に理解し、波浪観測データや既往設計資料等の情報収集を行い、各種検討、設計業務を適切かつ迅速に実施した。</p> <p>被覆工の現況調査においては、波浪により危険を伴う悪条件下での現場作業を安全に行うとともに、3Dレーザースキャナー観測とTS測量、俯瞰写真撮影を併用して正確に現況を把握し、適切に資料をとりまとめたほか、盛土部の検討においては、第二海堡護岸工事着手前の地形図を用いて構造物の残骸や等高線等から砲台形状を推測するとともに、現況地形図との重ね合わせにより最適な盛土断面を提案するなど、工夫して検討を行った。また、観光資源活用推進検討においては、第二海堡が歴史・文化遺産かつ不十分なインフラ整備等の制限された施設であるため、国内における歴史・文化遺産を観光地化した事例を収集整理し、VRやQRコード付き案内板、多言語型対応のAI型翻訳機等、先進的かつ実現可能な観光アイテムを提案した。</p> <p>さらに、鋼管矢板腐食検討や観光資源活用推進検討等の追加業務に対し、臨機に検討体制を確保し業務を遂行するとともに、発注者からの指示、現況調査や設計検討時において発生した新たな課題に対し、迅速かつ的確に対応しつつ、業務目的を十分に満足する成果を上げた。</p>		